

絆

清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長
清水はやと
2013(平成25年)3月号

抜群の実行力

清水市長が「絆」をテーマに市長に就任してから四年が経過している。市長の理念を基に策定された「しあわせ倍増プラン2009」と、3つの柱からなる「行財政改革推進プラン2010」に掲げたプロジェクトが着実に達成されるなど、様々な分野で抜群の実行力を発揮して大きな成果を見せてきた。

（生む改革）

「しあわせ倍増プラン」約9割達成

市の最優先事項として位置付けられたプラン。進捗状況を客観的に評価するために、公募市民、団体代表者、有識者等で外部評価も実施、この結果の報告会も毎年開催している。全部で138事業。平成24年度末までに約9割が達成見込みとなっている。

（人の改革）

「行財政改革推進プラン」9割達成（見える改革）

職員が当事者意識を持って、改善が日常的に行われるような風土をつくるための改革を。民間との交流促進、業務改善事例の全国発表会に参加するなど活性化を図っている。



プロフィール 昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業後、(財)松下政経塾入塾(第7期生)。埼玉県議会議員(南6区)2期を経て、平成21年5月さいたま市長に当選。著書は、「2010年読者プレゼント」(共著/二期出版)「繁栄の法則」(共著/TBSブリタニカ)「犯罪のない安全なまちをつくろう」(共著/埼玉新聞社)「さいたま市未来創造図」(埼玉新聞社)。好きな言葉は「素志貫徹」(成功の要諦は、成功するまで続けることにある)。現場から国を変える首長の会、共栄大学客員教授他。

「しあわせ倍増プラン2009」
※詳しくは、「しあわせ倍増プラン」で検索

<p>[地域温暖化対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車・スマートエネルギー特区 <p>[スポーツ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国初のスポーツコミッション設立 <p>[子育て支援策]</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育施設の定員3,000名以上増加 子育て支援センターを10か所増設 放課後児童クラブ定員1,336名増・26か所増 	<p>[地域と学校の連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> チャレンジスクールの実施 <p>[高齢者の健康長生き]</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバー元気応援ショップ制度創設 シルバーポイント制度創設 配食サービスの拡大 地域包括支援センターの増設・年中無休化 安心長生き条例の制定
---	--

※その他、指定都市初のノーマライゼーション条例制定など全部で138事業

ま市を「住みやすい」と感じている市民は年々増加。平成20年度の75.9%が、平成24年度は81.6%。他の自治体と比較してもかなり高い状況にあります。ちなみに「住み続けたい」では、本市82.5%に対して横浜市は62.6%(平成24年度調査)。清水市長は、「市のブランド力を更に発信・強化して、市民からも企業からも選ばれる都市を創る」と今後の抱負を語った。

しあわせ倍増プラン 行財政改革推進プラン 約9割達成!!

徹底した現場主義

- ・学校訪問167校全校
- ・タウンミーティング81回
- ・現場訪問421回
- ・車座集会101回 (H25.1末現在)

生む改革

ムダの削減と新たな財源の確保

財源創出675億円
(平成22年~24年の実績と見込)

▲増やした歳入163億円

- 《主なもの》
- ・市税等の収納率向上 約40億8,000万円
 - ・広告掲載による財源確保 約2,800万円
 - ・市有財産の有効活用 約16億1,600万円 など



スマートイノベーション戦略会議



園児に読み聞かせ



被災状況を視察



コンビニでの証明書発行(東日本初)



広告掲載で歳入UP



「浦和駒場スタジアム」ネーミングライツ 1,500万円

▼減らした歳出512億円

- 《主なもの》
- ・小学校給食調理業務の委託化 約2億2,500万円
 - ・一般廃棄物収集運搬業務委託 約2億7,000万円
 - ・指定管理者の公募推進 約10億6,000万円
 - ・職員人件費等 約41億5,000万円
 - ・聖域なき既存事務事業の見直し 約97億5,000万円 など

見える改革

選択と集中のためオールさいたまで情報共有

■全国情報公開度調査
平成21年度政令指定都市中 最下位
平成23年度 80点(満点)1位

■予算編成過程の透明度ランキング
指定都市中 **5位**

■市政を身近に「出前講座」スタート

■行政サービスコスト表示 ※全国市民オンブズマン連絡会議

- ・救急出撃業務
救急車の出撃件数1件当たり 42,425円
- ・スズメバチ駆除事業
駆除件数1件当たり 35,403円
- ・戸籍住民基本台帳事務業務
各種届出及び証明書発行件数1件当たり 1,516円



ノーマライゼーション条例啓発の手話応援



学校訪問で元気にあいさつ



養護老人ホームを訪問

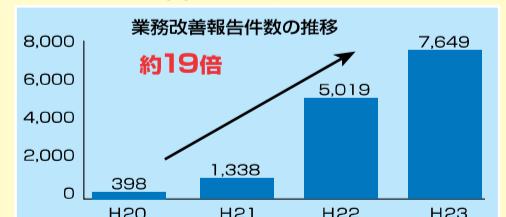


人形展示会を訪問

人の改革

職員の意識改革

・一職員一改善提案制度



・業務改善報告件数の推移
どんなに些細なことであっても、日常的に改善が行われるような風土づくり。
《例えば》岩槻区では、カウンターに杖たてを設置。受付で壁に立てかけた杖が倒れたりする不便な状況を見かねた職員が、お年寄りの目線でペットボトルを加工して杖置き場を設置。コストを全くかけることなく、高齢者や障害者をもった方が利用する部署で設置することとなった。

日本一地域の絆で結ばれたまち

市民一人ひとりが幸せを実感できるまち

東日本の中心都市へ



活力!! 地域の長を伸ばすまちづくり

① ついに動き出す大宮駅周辺のまちづくり

大門町2丁目中地区市街地再開発事業

東側に放送会館機能や
ホール・コミュニティ機能

18大宮駅東口に
18階複合ビル

※大宮区役所は、大宮図書館とともに県合同庁舎敷地に移設

⑬ 浦和駅の高架化

→ 湘南新宿ラインが停車 (H25.3より)

→ 駅東西口の一体化

→ 渋滞の緩和

一西口 東口

⑮ 子育て支援施設 「のびのびプラザ大宮」

5F 子育て支援施設
4F 公民館
3F 公民館
2F 公民館
1F 公民館

⑯ アートストリート整備

⑰ 新クリーンセンター

⑳ 複合公共施設「サウスピア」

㉑ さくら草特別支援学校

㉒ 岩槻駅改修

① 日進駅周辺整備(南口駅前広場)	H28	⑮ (仮称)さいたま市子ども総合センター整備	H29
② 指扇駅改修(橋上化・北口駅前広場)	H26	⑳ 北浦和駅バリアフリー化(改札内外エレベーター)	H25
③ ひまわり特別支援学校舎増改築	H27	㉑ 領家公民館改築	H25
④ (仮称)内野地区公民館	H26	㉒ 仲本児童センター・老人福祉センター仲本荘整備	H23
⑤ 栄小学校校舎改築	H25	㉓ 南浦和駅バリアフリー化(改札内外エレベーター)	H24~
⑥ 今羽駅バリアフリー化(改札内エレベーター)	H25	㉔ 複合公共施設サウスピア	H25
⑦ 加茂宮駅バリアフリー化(改札内エレベーター)	H22	㉕ 浦和別所小学校校舎改築	H24
⑧ 東大宮駅バリアフリー化(改札外エレベーター)	H25	㉖ 浦和美園駅東口複合公共施設	H27
⑨ 大宮駅西口自転車駐車場	H24	㉗ 次世代自動車・スマートエネルギー特区(スマートコミュニティの形成)	H28
⑩ 大宮区役所新築移転(大宮駅東口公共施設再編)	H28	㉘ (仮称)緑消防署等複合施設	H27
⑪ 大門町2丁目中地区市街地再開発事業	H30	㉙ さくら草特別支援学校	H24
⑫ 大宮消防署下町出張所庁舎移転整備	H23	㉚ 美園小学校	H24
⑬ 大宮駅西口第四地区複合施設「のびのびプラザ大宮」	H25	㉛ 市立病院 ESCO・防災エネルギーセンター更新事業	H27
⑭ 与野西中学校校舎改築	H24	㉜ 地下鉄7号線延伸実行段階移行	H24~
⑮ アートストリート整備	H23~	㉝ (仮称)岩槻人形会館	H27
⑯ 新クリーンセンター整備	H27	㉞ 岩槻駅改修(橋上化・西口駅前広場)	H27
⑰ スマートホーム・スマートコミュニティ実証実験	H24	㉟ (仮称)片柳地区消防署	H31
⑱ 浦和駅高架化事業(自由通路・湘南新宿ライン停車)	H25	㊱ 東部環境センターと西部環境センターの統合・余熱利用施設の整備	H33

さいたま市モデルを全国に発信!!

環境未来都市

「E-KIZUNAサミット」

清水市長の呼びかけで2県20市区の首長と12企業が参加。全国に先駆けてEV(電気自動車)普及のプロジェクトが始動した。

サミットでは
議長をつとめる

多くの大手企業が参加。
上田知事も勿論参加

自動車専門誌「Mobi21」(vol.92)に
さいたま市の「E-KIZUNA Project」が
紹介される

次世代自動車・スマートエネルギー特区

我が国の成長戦略、総合特区として指定された。地球に負担をかけない低炭素社会のモデルをさいたま市から創りだす。

記事は左から埼玉新聞、朝日新聞、東京新聞、毎日新聞より一部抜粋

スポーツ大会の誘致で地域活性化!!

全国初「さいたまスポーツコミッション」設立

報道各社がさいたまスポーツコミッションを注目。記事はスポーツ報知、埼玉新聞、日経新聞、読売新聞より一部抜粋

スポーツ、経済、観光の関係団体で構成するコミッションを設立。経済波及効果の見込める大会を誘致することを目標に掲げ、国際大会の誘致も手掛ける。



- #### <誘致に成功!!>
- 日本プロバスケットボールリーグ「bjリーグオールスターゲーム」過去最高観客数の2倍以上となる1万4000人が観戦
 - FIFA U-20 女子ワールドカップジャパン 2012
 - プレナスなでしこリーグカップ2012
 - 日本バドミントン3大会
 - 大相撲さいたま場所
 - 総合格闘技 UFC日本大会
 - 世界フィギュア選手権、全日本フィギュア選手権

日本一地域の絆で結ばれたまち

編集・発行 / 絆ネットワーク (清水はやと後援会) 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮7-70-3-1F TEL.048-686-9940 FAX.048-686-9941

★清水はやと ホームページ www.shimizu-hayato.jp

ツイッター&FACEBOOKアドレス twitter.com/shimizuhayato ja-jp.facebook.com/people/Hayato-Shimizu/100002555971398

事務所が
移転しました

